

重点活動 ブロッコリー被覆資材試験・優良ほ場調査・品種試験の 現地検討会を開催しました

上田農業農村支援センターでは、ブロッコリーの生産体制の強化に向けた重点活動に取り組んでおります。5月27日と6月17日に、関係機関の連携強化を図ることを目的とした 被覆資材試験・優良ほ場調査・品種試験の現地検討会を開催しました。

○5月27日「ブロッコリー被覆資材試験 現地検討会」場所：上田市武石、長和町ほ場
被覆資材のべたがけによる収穫期の前進化試験の取組状況の共有のため、JA等関係者17名が出席して現地検討会を実施しました。

当日には、3月下旬に定植しべたがけを行った区には出荷間近な株があるのに対し、被覆していない区では花蕾の大きさが1cm程度と、被覆資材の有無による生育の差を感じることができました。

出席者からは被覆を行う期間について質問・意見が出されるなど関心の高さがうかがえました。今後もブロッコリーの生産拡大、品質向上に向け、関係者と連携して取り組んでいきます。

○6月17日「ブロッコリー優良ほ場・品種試験 現地検討会」場所：東御市現地ほ場
JA関係者やJAうえだファーム研修生等17名が参加し、優良ほ場調査・品種試験の取組状況について現地検討を行いました。

優良ほ場では、協力農家2名にそれぞれ参加いただき、栽培上心掛けているのポイント等をお話いただきました。両名とも、生育初期の雑草対策についての工夫が見られ、適切な管理作業の重要性を確認できました。

品種試験ほ場では、実際に収穫を行い、収穫物を確認しました。病害虫の発生程度に差は見られない様子でしたが、収穫時期や花蕾の形状等に品種間差が見られました。

現在、6月下旬より収穫調査を実施している状況です。今後、得られたデータをまとめ、ブロッコリーの栽培技術の強化等に取り組み、更なる生産振興につなげていく予定です。



被覆資材試験の検討状況



品種試験の検討状況